

平成29年度 単位研究会事業計画

大阪府公立学校事務研究会

研究テーマ

『大阪の学校事務のグランドデザインを考える』

1. 研究部

今年8月の全国公立小中学校事務研究大会京都大会の分科会発表にむけて、研究と準備を進めていきます。これまで築き上げてきた大阪の学校事務の成果と、今後の学校や学校事務の変化をしっかりと見据えていき、2年間の研究内容を全事研大会の場で発表していきたいと考えています。

2. 総務部

- (1) 研究会活動計画と具体運営計画
- (2) 関係機関、団体との連絡調整
- (3) 広報紙の発行
- (4) 事業推進に必要な調査統計
- (5) 本会の活動の記録保存

Webページ <http://www.osaka-fujiken.jp/>



3. 研修部

- (1) 体系的研修制度の研究を行います。
- (2) 下記の日程で2回の現任者研修講座を企画します。アンケート内容の分析に努め、ニーズや今日的課題に即した内容となるよう企画するとともに、グループワークや事例演習を取り入れた参加型の講座となるよう工夫します。
- (3) 新規採用学校事務職員研修講座は、コミュニケーション力アップやチームワーク力アップをめざし、グループワークを取り入れた研修講座を企画・運営していきます。
- (4) ステップアップ研修講座を企画・運営していきます。今年度は、採用2年目を対象とした研修を1回行います。
- (5) 新規採用臨時的任用職員研修講座を開催します。

<現任者研修講座の予定>

- ・第71回研修講座 2017年(平成29年) 7月 7日 アウィーナ大阪
- ・第72回研修講座 2017年(平成29年) 11月16日 アウィーナ大阪

<新規採用学校事務職員、ステップアップ研修・新規採用臨時的任用職員研修講座の予定>

- ・平成29年度 第1回新規採用学校事務職員、新規採用臨時的任用職員研修講座
2017年(平成29年) 6月23日 アウィーナ大阪
- ・平成29年度 ステップアップ研修講座(経験年数2年目対象)
2017年(平成29年) 10月19日 アウィーナ大阪
- ・平成29年度 第2回新規採用学校事務職員研修講座
2018年(平成30年) 1月25日 アウィーナ大阪

4. 大阪府公立学校事務研究大会特別委員会

府事研研究大会の課題解決に向け月1回程度特別委員会を開催します。

特別委員委嘱期間 2018年(平成30年) 3月31日まで

5. 第26回研究大会(全国公立小中学校事務研究大会京都大会の分科会発表同心円開催)

京都大会の分科会において研究部による研究発表を行います。多数の参加をお待ちしています。

滋賀県公立小中学校事務研究協議会

1. 第46回滋賀県公立小中学校事務研究大会

大会テーマ「創造しよう！教育を活かす学校事務を」、サブテーマ「つかめ 淡海のBig Wave ～子どもたちの輝く未来のために～」として実施します。

日時 平成29年12月8日（金）9：40～16：45

会場 滋賀県立男女共同参画センター

内容 (1) 全体会 「学校に求められる業務改善と学校事務職員の機能と役割」

(2) 基調提案 学校マネジメントコンサルタント

文部科学省 学校業務改善アドバイザー 妹尾昌俊氏

(3) 分科会 県内3つの支部による「地域連携業務」・「業務改善」に関する提案

2. 専門部・事務局活動について

(1) 研究部

研究部では、新しい学校事務の機能を求めて研究を進めています。「チーム学校」の中での行政職員としての役割、戦略プランが立案できる学校事務職員を目指してどのような力をつけ、キャリアアップを図っていくのか研究を進めていきます。

共同実施における「地域連携業務」・「業務改善」・「働き方改革」とあわせて、新しい事務機能がしっかりと果たせる学校組織について考えていきます。

来年度開催の全事研60周年記念大会での分科会運営を進めています。

(2) 研修部

年間3回の初任者研修が、総合教育センター研修と体系化させたものになるよう努めます。また、「学校事務の仕事」を滋事研 web にアップしています。

全体研修については、年間2回の研修講座を実施し、子どもたちの豊かな育ちを支援するため「業務改善と学校事務職員の機能と役割」の観点の実践やキャリア形成につなげます。

(3) 広報部

広報部では、広報紙「さざ波」を年間2回発行と、滋事研 Webの定期的な更新をします。滋事研の活動や会員による実践報告、学校事務に関する様々な情報を提供していきます。（滋事研 Web：shijiken.com）

(4) 事務局

事務局では、滋事研 web に掲載している「学校事務ハンドブック」の内容更新。記載内容についても会員のみなさまが利用しやすいよう充実を図っていきます。

「要覧しが」「会員名簿」「ダイアリー2018」の編集・データ配布を行います。

神戸市立小学校事務研究会

神戸市では、平成29年4月、兵庫県から神戸市へ権限移譲が行われました。権限移譲に伴う事務手続きについてはある程度の予測を持ち準備してきたつもりでしたが、想定外の事例も多く、通常の前年度末年度当初の事務処理に加えての事務内容となり、例年以上に多忙感や煩雑感を感じる日々を過ごしました。

神戸市の学校現場を取り巻く環境は、権限移譲だけでなく他にも大きく変化しています。これらの変化は、昨年1月に策定された「神戸市教育大綱」の具現化、また、学校現場での業務改善につながるものであり、私たち学校事務職員にも大きく関わってきます。また、市教委では、学校の事務機能が一層強化されるよう、「学校事務職員のあり方」について検討がなされています。

神戸市においては、小学校・中学校・特別支援学校の事務研究会・事務職員会がそれぞれに活動していますが、今後新たに構築される相互支援体制を見据え、引き続き校種間の連携を促進し、研究・研修を通して相互の情報や意識の共有を図り、神戸の教育を共に考えていきます。

今後も、財務・情報を学校事務職員の中核的業務に位置づけ、研究会活動の基盤である区会活動のさらなる活性化を図り、その成果を共有して学校事務の適正化・効率化・標準化を目指します。

平成30年2月6日（火）に、神戸市総合教育センターで研究大会を開催します。今年度は、例年通り一日開催とします。

（神小事研ホームページ <http://www2.kobe-c.ed.jp/jimu-es/>）





本研究会では目指す学校事務職員像を明確にし、研究部・研修部・事務局・支部が連携しながら研究会活動を進めています。

目指す学校事務職員像

- 教育行政職としての専門性を活かし実践していく学校事務職員●
- 学校のマネジメントを推進する学校事務職員●
- 幅広い学校事務の領域と知見を持つ学校事務職員●

研究方針

学校財務運営を基盤とした学校組織の機能を高める

学校の教育力を高める学校間連携を推進する

学校事務職員の能力開発と資質向上に向けた取組を推進する

地域とともにある学校づくりを支援する

次代の学校事務を探究する

研究部

「一人一人の子どもを徹底的に大切にできる学校」「市民ぐるみ・地域ぐるみの教育となる学校づくり」の実現に向け、学校事務職員の役割の追究と実践、小中一貫教育、地域連携を視野に入れた「京都方式の学校間連携」の取組推進に向けた研究と実践を深めていきます。

全国に向けて京都市の学校事務と事務職員の取組を発信し、全国の学校事務職員の取組を知り研鑽し、これからの研究と次代の学校事務の展望へとつなげていきます。

研修部

教育行政職としての専門性を活かし、効果的な財務運営を通して、学校経営に主体的に参画する学校事務職員を目指し、学校財務マネジメントの確立に向けた研修の充実を図ります。

学校の経営力・教育力向上のため、実践を通して学校事務職員の仕事の幅を広げることを目指すとともに、校内で効果的に活用できる資料の作成や法的根拠の研鑽など、学校事務職員の資質向上のための活動を行います。

事務局

庶務的事項・事業的事項・広報的事項・財務的事項についての事業を円滑に行うための活動をしています。充実した研究会活動を推進するため、各部や各支部等の連絡・調整を図ります。また、関係機関や他府県の研究団体等との連携を図り、会員に情報提供できるよう広報活動の充実努めています。

平成29年度 京都市立学校事務研究大会

期 日 平成29年12月8日(金)

場 所 京都市総合教育センター

おこしやす!

奈良県公立小中学校事務研究会



奈良県では、平成28年10月1日付けでグループワーキング試行要綱が実施要綱に改正されました。また、平成29年2月にはグループワーキング連絡会議が開催され、各市町村においてもグループワーキング実施に向けた話し合いが進められています。

今年度は、これまでの研究内容を引き継ぎながら「カリキュラム」と「マネジメント」に重点を置き、事務職員の役割を「何のために、どのように進めるのか」といった視点で研究を進めています。各校やグループワーキングにおいて、学校の課題を整理するとともに、教職員や保護者、学校内外の関係者と連携し、課題を解決するための具体的な手法を提案し、実践に結びつけていけるよう研究を進め、仕組みやシステムの構築に向けて取り組んでいます。

そこで、本会では、研究主題「これからの学校経営を担う学校事務の探求」のもと、「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」のため、会員一人一人の「めざす事務職員像」の実現に向けて活動を進めるとともに、関係機関等との連携を深め事業を計画・実施します。

ネットワーク
・地域との連携を推進する事務職員

学校情報
・情報管理担当者としての役割を果たす事務職員

マネジメント
・組織力を高めることのできる事務職員
・説明責任を果たせる事務職員

カリキュラム
・子どもたちの健やかな育成を支援する事務職員

学校評価
・学校改善のための視点を持つ事務職員

平成27・28年度

平成29・30年度

※学校事務グランドデザイン『すまいる 奈良』より抜粋

研究会活動は「支部活動の充実・交流」と「専門部活動の充実」を活動の柱としています。事業は、年間2回の研修会、新規採用事務職員フォローアップ、県校長会・教頭会・事務研究会合同会議を行っています。

また、第49回全国公立小中学校事務研究大会（京都大会）で「学校事務を創る、挑戦からさらなる“しんか”へー笑顔あふれる学校づくり グランドデザイン『すまいる 奈良』で子どもたちを“すまいる”にー」のテーマのもと分科会発表を行います。

さらに、平成29年12月1日、第44回研究大会を奈良県立教育研究所において開催します。午前中は、全事研京都大会分科会担当者による京都大会での分科会発表内容の報告、午後は、4支部（香芝市・葛城市・生駒郡・北葛城郡）による分科会発表を予定しています。

第13回近畿地区公立小中学校事務研究大会を兼ねています。
多数のご参加をお待ちしています。

「近畿はひとつ」

第49回 全国公立小中学校事務研究大会

京都大会のご案内

開催日 平成29年8月2日（水）～ 8月4日（金）
会場 ロームシアター京都・みやこめっせ
大会テーマ 「地域協働による学校づくりと地域づくり」
～「京から明日」 古都から奏でる未来～